

[注意：テスト形式の例示用]

大阪学院大学企業情報学部
情報ネットワーク論（平成14年度後期）期末テスト問題

2003年2月5日
鬼木 甫

下記（A） - （D）の4個の設問から2個を選べ。その2個の設問それぞれについて、設問中の単語をすべて含む「記述」（前後関連を持つ数個の文章から成る短いエッセイ）を作れ。与えられた単語を含む最小限でなく、なるべく多くの内容を含む「記述」を作成されたい。採点は、「記述内容の豊富さ、深さ」によって行う。なお作成した「記述」中で、設問で指定された単語を ○ でかこむこと（ただし ○ をつけるのは、各単語につき、各問への答案中で1カ所だけでよい）。

注意：1．持込無制限とする（コンピュータも可）。

2．答案文章としては、自身で書き下したオリジナル文章の場合を高く評価する。

3．答案中に自他の資料を引用する（書き写す）ことは認めるが、1回の引用が1行を超える際には、下記(i)(ii)にしたがって引用元を明らかにすること。1行を超える無断引用があった場合、引用元の如何を問わず、答案無効となるので注意すること

(i) ノート、教科書（テキスト）、教室配付資料、WWW入手・配付資料（本講義教材として指定の分）の場合、引用部分の前後に []（角カッコ）をつけて囲むだけでよい。

(ii) 上記以外の資料からの引用の場合、引用部分の前後に （不等号カッコ）をつけて囲み、引用元（著者名、書物・雑誌等名、発行者、刊行年月日、引用ページ番号など）を明記すること。つまり、引用全体が < 引用文書（著者名、書物名等、・・・、引用ページ番号） > の形にする。

(A) 通信・放送産業、接続の義務、公的規制、排除可能性、電波オークション（例示用、実際の設問はこれと異なるので注意されたい）

(B)

(C)

(D)

注意（加点票の扱いについて）：

これまで受け取った加点票（出席票各2%を含む）は、テスト答案の空白に添付すること。その際、添付には持参の「**のり**」あるいは「**ゼロテープ**」を使い、かつ加点パーセントの合計を「答案1ページ目の右上部」に○で囲んで書いておくこと（故意・過失による計算誤りは、マイナス加点とするので充分注意されたい）。上記に反する加点票添付は、受け取らないことがあるので注意されたい。

大阪学院大学企業情報学部
情報ネットワーク論（平成14年度後期）期末テスト問題

2003年2月5日
鬼木 甫

下記（A） - （D）の4個の設問から2個を選べ。その2個の設問それぞれについて、設問中の単語をすべて含む「記述」（前後関連を持つ数個の文章から成る短いエッセイ）を作れ。与えられた単語を含む最小限でなく、なるべく多くの内容を含む「記述」を作成されたい。採点は、「記述内容の豊富さ、深さ」によって行う。なお作成した「記述」中で、設問で指定された単語を ○ でかこむこと（ただし ○ をつけるのは、各単語につき、各問への答案中で1カ所だけでよい）。

注意：1．持込無制限とする（コンピュータも可）。

2．答案文章としては、自身で書き下したオリジナル文章の場合を高く評価する。

3．答案中に自他の資料を引用する（書き写す）ことは認めるが、1回の引用が1行を超える際には、下記(i)(ii)にしたがって引用元を明らかにすること。1行を超える無断引用があった場合、引用元の如何を問わず、答案無効となるので注意すること

(i) ノート、教科書（テキスト）、教室配付資料、WWW入手・配付資料（本講義教材として指定の分）の場合、引用部分の前後に []（角カッコ）をつけて囲むだけでよい。

(ii) 上記以外の資料からの引用の場合、引用部分の前後に （不等号カッコ）をつけて囲み、引用元（著者名、書物・雑誌等名、発行者、刊行年月日、引用ページ番号など）を明記すること。つまり、引用全体が <引用文書（著者名、書物名等、・・・、引用ページ番号）> の形にする。

（A）デジタル情報、LSI（大規模集積回路）、大量生産、固定費用、国際競争、歩留り

（B）マイクロソフト社、OS（オペレーティング・システム）、公正競争、ロックイン効果、AP（アプリケーション・プログラム）、独占

（C）PC（パーソナル・コンピュータ）、互換機市場、BIOS（基本入出力システム）、エプソン社、「クリーン・ルーム」方式

（D）インターネット、RFC（意見表明制度）、分業と専門化の利益、IPパケット方式（インターネット・プロトコル方式）、ネットワークの効率と費用

注意（加点票の扱いについて）：

これまで受け取った加点票（出席票各2%を含む）は、テスト答案の空白に添付すること。その際、添付には持参の「**のり**」あるいは「**ゼロテープ**」を使い、かつ加点パーセントの合計を「答案1ページ目の右上部」に○で囲んで書いておくこと（故意・過失による計算誤りは、マイナス加点とするので充分注意されたい）。上記に反する加点票添付は、受け取らないことがあるので注意されたい。